

2023年 創刊号

vol.01

¥0



大阪介護支援専門員協会 堺ブロック

Osaka Care Manager Association SAKAI Block



特集：各支部の紹介と活動内容

協会に対してのエール

医師会会長から、協会に対しての応援の言葉を頂いています (p.1)

ロゴ・キャラクター決定

応募のあった作品を、協会委員の投票により、最優秀賞と特別賞がきました (p.4)

各区と活動の紹介

堺市ブロックには7つの区があり、それぞれの支部が存在します。今回はそんな支部の事を紹介しています (p.9)



『市民のための専門職』 として何が必要になるのか？

堺市医師会会長（西川クリニック：西川院長）

各専門職が有している知識を高め、知識を身に付ける。これが非常に重要である。知識、知恵の向上は、一人では限界がある。同職種、様々な職種の見地等を得、自己研鑽を積むことが重要と考える。

自身の経験になるが、以前に8年目のケアマネジャーさんと一緒に仕事をさせてもらえることがあった。ただ、そのケアマネジャーさんは、介護支援専門員協会に入会しておられない方で、独自の経験のなかで成長を積み重ねてこられたケアマネジャーさんではあったが、介護保険認定審査会の仕組み等、日々の業務だけでは知り得ることのできない、知識や知恵が欠如されておられ、上手く連携した支援ができない事例があった。

医師会でも入会する医師と、入会しない医師とでは、2年～3年経つと診療情報や最新の治療等の知識、見解等に大きな差が観られることが多い。ケアマネジャーも同じことが言えると思うので、介護支援専門員協会への入会を強く勧めていきたい。

また、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が国の施策として必要となる。

地域包括ケアシステムの稼働に伴い、重要なことは、多職種間でのネットワーク体制の強化必須である。

医師会では、『①：ICTネットワークシステム』・『②多職種連携情報共有システム いいともバイタルリンク』を構築して、ITを活用した、多職種間でのネットワーク体制の強化を図ることを行っている。

このシステムが完成すると多職種間の情報が共有でき、救急、緊急時の対応などが強化されることが期待される。救急搬送時等も、主治医名、疾患名、薬剤情報、現在支援をしている生活状況等が把握され、初動も早く、質の高い対応ができるようになる等、市民を支援する上での一助になる事は間違いないであろう。

ただ、運用上、多職種職能団体の協働が不可欠となる。多職種からの見地を集約することで、ネットワークシステムはアップデートされ、より実務的なシステムに昇華をしていくことが、システムの維持費、行政、多職種等の多くの理解、賛同を得ることが必要になる等、課題は山積しているのが現状である。

2025年、遅くとも2026年には『①：ICTネットワークシステム』・『②いいともねっと バイタルリンク』の実運用を開始し、地域包括ケアシステムのネットワーク強化を図る上で、職能団体に入会しておらず、新たな連携システムの知識、知恵が無いと市民の方に迷惑を掛けてしまうことになる。システムが動き出してからでは遅いのである。このことを覚知した上で、重要になるのが、やはり現段階から職能団体（介護支援専門員協会）に入会し、最新の情報等を知り得、研鑽していくことが重要になると考える。

前途にも述べたが、『市民のための専門職』として、市民に恥じず、迷惑を掛けないように支援する為にも、強く介護支援専門員協会への入会を勧めたい。また、介護支援専門員協会会員数も全体の95%～100%になるよう、現協会員の活動も期待したい。



4代目 堺ブロック支部長 大谷 信哉

平素は大阪介護支援専門員協会堺ブロックの活動支援いただき誠にありがとうございます。

当協会堺ブロックは、大阪介護支援専門員協会が地域活動を支援するため大阪府下を8つのブロックに分けた5つのブロックにあたり7区の支部で構成されています。1つの市でブロックを構成しているのは大阪府下でも堺市だけとなっています。

その効果は大きく、堺医師会・堺薬剤師会・歯科医師会・堺訪問看護ステーション協会等の他職種や行政とも好連携がとれている1つの要因と考えています。

堺ブロック内活動においては、7区支部長を中心とした運営委員に加えて災害対策チーム(職能団体のBCP作成)、広報チーム(400名を超えるブロック内協会員とのメーリングリスト作成・堺ブロックのホームページ運営)、法務チーム(当協会顧問泉田弁護士を中心に法務的な相談窓口の開設)の活動にて地域の協会員の皆様に支援しております。

居宅介護支援事業所・介護支援専門員の年度別新規登録者数も減少傾向にて人材不足が懸念される中、今一番必要なのは団結だと考えています。そのためにもより一層皆様から協力を賜りますようによろしくお願い致します。



堺ブロック顧問 ・大阪介護支援専門協会副会長 日本介護支援専門協会 理事 中辻朋博

本稿をお読み頂き、ありがとうございます。

もし、御自身が介護支援専門員で、協会にまだ入会しておられなければ、是非、入会手続きをお願いします。私たち役員一同、仲間を増やしたい、と願っております。

協会は個人単位で入会します。ひとりひとりの介護支援専門員が会員です。入会すると、会員同士の会合や研修等で職場を越えた「つながり」が生まれます。

制度改定の時期等、膨大な情報量となりますが、メールマガジン等で必要な情報が把握し易くなります。

また、私達の業務は、制度に大きな影響を受けます。利用者にとって、より良い制度とするためには、そして自分達の業務をより良いものするためには、みなさん一人一人会員の「数」が重要となります。

今後も、居宅介護支援費の自己負担導入等、厳しい審議が予想されております。

利用者のためにも、自分自身のためにも、入会頂くことを重ねてお願いしておきます。

[ロゴマーク・キャラクター決定]

募集総数 122件！！
(うちロゴ81件 キャラクター41件)

今回1次審査を行い、そこから2次審査でそれぞれ10名程度に厳選。
その上で、堺ブロックの協会員にフォームを用いて投票を行いました。
その結果3点が選ばれました。

協会初の公募形式で、ロゴとキャラクターを募集。
しかも、優秀賞には賞金5万円という企画が動き出しました。

当初は、本当に応募があるのかないのかわらないので、どうなることやら？と思っていたのが、沢山の応募があり、本当に嬉しい限りです。
(公募ガイドにも掲載、全国からの応募がありました)

どれもこれも、堺ブロックで使いたい！そう思うものばかりでしたが、協会員の投票という形で3点を選ばせていただきました。

今後は、協会の研修案内、HP,などなどいろいろなところで活用させていただきます。

応募していただいた皆様ありがとうございます。
そして、受賞者の皆様本当に
おめでとうございます。

堺ブロック特別賞



堺ブロック 特別賞 受賞者
多田 一昭さん

受賞者のコメント

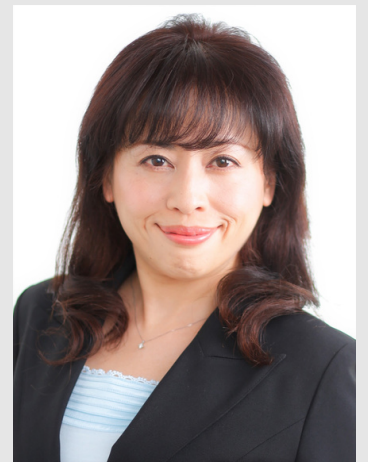
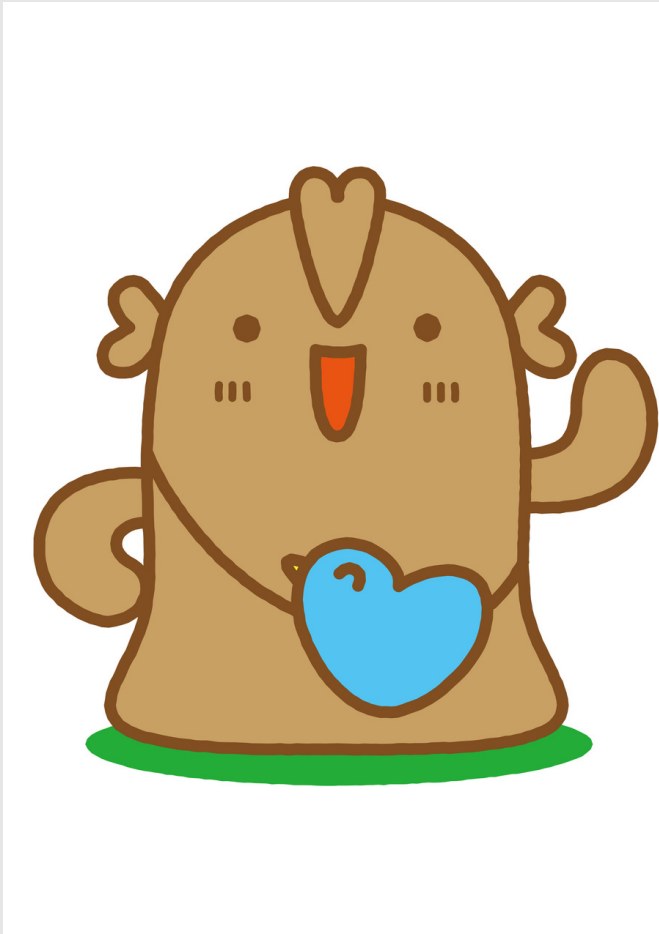
《デザインの意図・コンセプト》
ロゴタイプは、「やさしさと信頼」が感じられる造りを心掛けるとともに「堺ブロック」の部分に特徴を持たせました。
またシンボルマークは、堺市内の「百舌鳥古墳群」が世界最大級の墳墓・仁徳天皇陵古墳を中心とした古墳が残り、世界遺産に認定されており、そこから発掘された「埴輪（はにわ）」は、市のシンボルともなっています。
そのことからSAKAIの「A」を埴輪に見立て、やさしと親しみやすさのあるSAKAI BLOCKの英文字デザインとしています。

《特別賞受賞に際して》
この度は、大阪介護支援専門員協会 堺ブロックのロゴマーク公募において、特別賞を賜り、貴団体のシンボルとして周知や広報等に活用いただけては大変に光栄で喜ばしく、衷心より感謝申し上げます。
大阪は私が専門学校に通っていた地であり、姉や甥・姪は大阪市平野区に住み、何事かあれば赴いています。また取材など仕事でも行き来しており、日常で大阪弁が出るように、とても愛着のある都市です。

そして、鳥取県社会福祉協議会発行の福祉の情報誌「HOTeye（ホットアイ）」の制作を30年余りに渡り委託を受け、現在もvol.112号の制作をしており、ケアマネジャーをはじめ社会福祉関係には精通していると自負していることから、この度の受賞は一方ならず感慨深く感じております。

どうかこのロゴマークを有効に幅広く活用していただけたら幸いです。
貴団体の益々のご活躍を祈念します。誠にありがとうございました。

キャラクター 最優秀賞



キャラクター最優秀賞
受賞者

山本 ひまり さん

受賞者のコメント

「今回キャラクターを考案する際、真っ先に浮かんだのが「笑顔」でした。父の介護の際、親身に寄り添ってくださった介護支援専門員さんの温かい笑顔に救われた経験からです。

笑顔の主は堺にちなんだ埴輪で、頭と耳はハートです。幸福の青い鳥のポシェットにも笑顔の元が詰まっています。

ご選出いただいたご縁に感謝しつつ、このキャラクターが皆様に末永く愛され、介護の現場を笑顔でいっぱいにしてくれるよう祈っています。」

ロゴ 最優秀賞



ロゴ 最優秀賞

受賞者

ペンネーム: 薩摩隼人 さん

受賞者のコメント

この度は、応募作品の中からロゴマークに採用して頂きまして大変光栄に思います。

ロゴマークが、大阪介護支援専門員協会堺ブロック様の活動のお手伝いをさせていただきますことに大変嬉しく思います。

ロゴマークには、介護支援を通じて地域の力を繋ぐ存在でありたいと思う姿を親しみやすく表現し、未来に向かって発展し続けてほしいという思い・願いを込め、多くの方々に知っていただけますようお役に立てたらと願っております。

本当にありがとうございました。

大阪介護支援専門員協会は10周年

ブロック活動

➡ 平成4年から組織化

初代 支部長は 斉藤さんが、堺ブロックをひっばてくれました。

堺では最初から堺はひとつという考えで、各区とを結ぶブロックという形で活動をしています

現在は月1回程度、定期的に支部長がオンライン会議を行い、各区の情報共有、ブロック研修の企画など行なっています。



➡ 7つの区の集まり

堺市の各区には、それぞれ支部を設置しています。それぞれの区がそれぞれに活動をするのではなく、堺市で働く介護支援専門員として、堺市の中では様々な事を共有し、意識しながら活動をしています。

基本的には皆さんの勤務地で支部登録されています。

勤務地が変わった場合などは、変更届の提出をお願いします。

➡ ブロックの中のチーム

堺ブロックの協会員数は令和5年2月現在で〇〇〇名になります。

この協会員の中から、いくつかのチームを作り、協会運営を行っています。

各支部の支部長と、チームの担当者は定期的に月1回の運営会議を開催。数年前からこの運営会議もオンラインで開催しています。

次のページには、各支部の支部長以外で構成されたチームを紹介させていただきます。

次のページへ>

メリット？という話

協会へ入ると何かメリットはありますか？
そういった質問を、協会として頂くこと時々あります。
例えば、ファンクラブであれば、コンサートチケットの先行販売などのわかりやすいメリットがありますよね、

では、こう言った職能団体ではどうでしょうか？
医師会、看護協会、介護福祉士会などなど、年会費も高く入ることに躊躇している方も多いのかもしれませんが。
しかしながら、他団体の会員組織率は半数を超えている所もあります。介護支援専門員においては令和3年度の数字では4.2%。

介護支援専門員・ケアマネジャーとして、
自分たちの職務を全うするためにも、意見の言える場が必要になるのではないのでしょうか。

年会費が高いから入らない、のであれば、年会費を下げられないか？どのくらいが適当であるか？ということ意見をしてみてもいいのではないのでしょうか？

それでも協会には入らない、という方も中にはおられるかと思えます。そんな方に対しても、魅力のある組織にしていかなければならないということも、合わせて組織で活動していくことの役割としてあるのではないかと思います。

まずは堺から、堺市の介護支援専門は1000人は超えています。協会員はそのうち300名。少しでも多くの方に、協会員として、ケアマネジャーとして、仲間を増やしていけたらと思います。

メリットは何か？形のあるものや、形のないものが考えられます。人とのつながり、研修が安く受けることができる、など自分にとってはどんな意味を持つのか？はあるいは意味があるようにしてくためにも、私たちと一緒に、協会員として活動の1歩を踏み出す気持ちをもってもらえたらと思います。

(文責：牧野)

防災チーム

チーム長（くろひげケアプランセンター 松井 知子）

介護支援専門員協会堺ブロックでは、堺市7支部合同にて災害対策チームを立ち上げ活動を開始する事となりました。
チームメンバーは、災害認定ケアマネジャー資格を有する者で構成しております。

被災時に各地域の情報を集約し包括支援センターや各区災害対策担当者との情報共有・情報発信を行うとともに、非被災地域への応援依頼や調整を行います。

また平時には年間を通じて研修の機会を確保し被災時に活用できる連絡体制等の構築を図る様に組織づくりを行っていきます。日ごろからの防災の意識と顔が見える関係を構築していくことで被災した時にも、皆さんの業務が遂行できるよう活動を行っていきます。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



法務チーム

チーム長（かむらソーシャルサポート 川口 朋寿）

「この度、堺ブロックは「法務チーム」を立ち上げました。会員の法務上の困りごと、サポートさせていただきます。我々は公的機関や事業所等と連携して、利用者・家族様等の生活を豊かにするサポーターです。

しかしながら、私たちの知識や経験では対応する方法が分からないこと、また、過度な要望等で悩まれることがあると思います。そのような時、「法務チーム」にご相談頂き、相談内容によっては堺ブロック顧問弁護士の泉田先生にアドバイスを頂き、解決に向け支援する体制を整えました。

会員の皆様が、安心してケアマネジメント業務に邁進する事が出来るよう尽力致します。大阪介護支援専門員協会 堺ブロック会員限定となりますが、是非、ご遠慮なく相談頂ければ幸いです。」

法律相談サービス

利用者の支援、法律の専門家による助言は不可欠です！

相談方法

- 1) 会員から支部長等へ連絡・相談
- 2) 顧問弁護士より書面にて助言
- 3) 相談内容に応じて、対面で相談

広報チーム

チーム長（ベルタウン介護相談センター 竹谷厚作）

今年度より『防災チーム』・『法務チーム』・『広報チーム』が堺ブロック介護支援専門員協会で立ち上がりました。チームメンバーは、『ケアプランハウススキー牧野さん』・『ケアプランセンターお結び 加藤さん』と私、竹谷の3名で構成されています。

広報チームの中核活動としては、堺ぶろっくHPの更新や、堺ブロック介護支援専門員協会会員様のメール登録、今回初版となりました広報誌の作成等の活動を行っています。

広報チームとしては、協会員様に、早期に有益な情報を伝えることができればと考えております。

そこをお願いにはなるので、協会員様でまだメール登録が完了されていない方がおられましたら、任意ではありますが、メール登録をして頂けると法定外研修の案内等を含め、有益な情報提供がし易くなると考えております。メール登録の方法が解らない方がおられましたら、お手数ですがベルタウン介護相談センター 竹谷まで御連絡（右のQRコード）頂けると幸いに存じます。



堺区支部

堺区支部のご紹介

堺区支部長（淡路 和孝 堺第3地域包括支援センター）

堺市堺区支部は会員数87名（令和4年8月現在）で構成されています。

主な活動として、新人向け研修として「わかばマーク研修」を夏季に開催しています。また、法定外研修を年2回開催しています。さらに、「かかりつけ医とケアマネジャーとの交流会」を年1回開催しており、様々な機会を通じて会員に対して研修の機会を提供しています。

さらに、堺区高齢者支援ネットワーク会議、堺区ケアマネジャー連絡会など公的な団体が主催するネットワーク協議体にも参加しており、課題提起を積極的におこなっております。



美原区支部

美原区支部の会員数は28名と堺ブロックの中でまだまだ一番少ないのですが、だからこそアットホームな雰囲気です。活動に取り組んでいます。

年に2回の東区と協同主催の法定外研修開催の他、美原区の基幹型包括、地域型包括と協同して介護保険に関わる美原区の全事業所のスキルアップ、ネットワーク構築のための研修の企画をしています

（写真は協同開催の事業所連絡会の様子）

共に支部役員として活動していただける方を増やしていきたいと、模索しているところです。

今後とも支部活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。



中区支部

中区支部は堺市内で介護支援専門員として活躍する方を支援する機関として、当初から新任ケアマネを対象とした『わかば研修』と資質向上のための『よつば研修』を継続しております。

近年では、東区支部と合同で開催することで幅広い専門職との交流が図れております。

2022年のわかば研修は3回のオンライン講義を経て、その3ヶ月後にフォローアップ研修「wakaba cafe」を開催しました。

そこでは、ご利用者から「あなたに頼んで良かったわ」と言っていただけと、介護支援専門員としての成長を実感する機会となりました。

今後とも支部活動にご理解とご協力をお願いいたします。



北区支部

北区支部長の田中です。

北区支部は会員数が約50名の支部です。

令和4年度は堺ブロック内の各支部と合同で法定外研修やわかばマーク研修会を企画運営してきました。

研修会を企画運営することや研修会に参加することで他事業所のケアマネジャーと交流でき、ケアマネジャーとしての視野が広がっていくことができると思っておりますので北区支部の活動にご興味がある方や研修の企画運営に参加できる方を随時募集しております。一緒に研鑽していきましょう。

ご連絡をお待ちしております。



東区支部

堺市東区支部は会員数31名です。

活動としては、中区支部、東第二地域包括支援センターと合同で「わかば研修」を行っています。また毎年、年2回、東区、美原区主催にて資質向上研修を実施。（法定外研修）

今年度は令和5年2月に2回目の法定外研修を予定しております。

今後も研修を通じて、地域のケアマネジャーのスキルアップのお手伝いができるように尽力したいと考えています。

今後も、支部活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

介護支援専門員資質向上オンライン研修

コロナ禍の今だから・・・
知っておきたい、在宅でできる
リハビリテーション

～呼吸器・心臓リハビリテーションについて学ぶ～

呼吸器や心臓の病気によって生じた障がいを持つ方に対し、どのようなアプローチができるのか。
ご利用者の快適で活動的な生活の実現に向け、リハビリテーションについての理解を深める研修です。

2023
2/18 土
14:00～16:30 2.5h
12:45から入室受付

参加費
会員 1,220円
非会員 3,220円
(システム利用料込み)

定員 85名
定員に達した時点で申し込みがなくなります。

講師

第一部 (呼吸器リハビリテーション)
はると訪問看護ステーション代表取締役
森ノ宮医療大学 理学療法科 客員教授
前田 和成 様

はると訪問看護ステーション 理学療法士
高 重治 様

第二部 (心臓リハビリテーション)
ソフィアメディ株式会社
ソフィアメディ訪問看護ステーション堺中央
理学療法士 松嶋 翔 様

■ 受講に関する注意事項について、裏面を必ずご確認ください。

■ イベント参加受付は peatix を使用します。
電話や FAX での受付はできません。
その他、peatix 記載の注意事項を必ず確認してください。

URL: <https://peatix.com/event/3451747>

主催：(公)大阪介護支援専門員協会 堺市東区支部・美原区支部

西区支部

堺市西区支部は会員数が約100名です。

従前より、質の高い研修を開催していることをアピールポイント(?)と自負しております。

活動方針としては「地域の発展に寄与し、地域ケアを安心して推進できる支部活動」をテーマに様々な活動に取り組んでいます。

今後とも皆様と一緒に活動して参りますので、御理解・御協力の程宜しくお願い致します。

「対人援助職として大事なこと」
～ゆっくり、でも常に志高く～

2022年5月25日 水 14:00～17:00

場所 ベルアンサンブル地域交流センター
〒590-8315 大阪府堺市東区橋本1丁目3-1
公設民営法人大阪介護支援専門員協会
会費 3,000円、非会員 5,000円 (peatix使用料別途追加 ご了承ください)

講師
兵庫県対人援助研究所 主宰
稲松 真人 氏

関西大学社会学部社会学科社会学専攻卒業。身体障がい者施設に10年、特別養護老人ホームに約15年勤務。介護職・福祉系・介護支援専門員・施設長等経験。2010年10月よりフリーランスで対人援助職養成の講師・スーパーバイザーとして活躍。

日本ケアマネジメント学会の役員、兵庫県介護支援専門員協会の役員、大阪府介護支援専門員協会の役員。

南区支部

堺市南区支部は会員数が約60名の支部です。役員は支部長を入れて8名と監事2名です。

令和4度は8月に「在宅療養者の栄養課題について」というテーマで久しぶりに集合の法定外研修を実施しました。

来年1月28日に防災研修を企画しています。また、堺市南区会員限定のグループメールを設定し現在8割の会員に登録頂いています。

堺市南区支部の研修や情報をいち早くお知らせしたり、南区支部会員同士の情報共有や書き込みのツールとして今後は発展させていきたいと考えています。

会員同士の顔が見える関係づくりを目標に支部活動を行っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



各区支部 連絡先

堺区支部長	淡路	sakai3-houkatu@hotmail.co.jp
東区支部長	木元	hamayoung0619@yahoo.co.jp
西区支部長	河内	r-kawachi-cpc@pegasus.or.jp
南区支部長	小名	kona.tsunagu@gmail.com
北区支部長	田中	abc_tennis_0201@yahoo.co.jp
中区支部長	梶山	fure1979@yahoo.co.jp
美原区支部長	根来	takara.negoro@sb21.co.jp

大阪介護支援専門員協会ブロック主催
介護支援専門員資質向上オンライン研修



介護支援専門員の 倫理と責務Part 2

～業務に悩んだ時こそ考えたい～
利用者のハラスメント行為や支援が
悩ましいケースに直面した時
介護支援専門員として取るべき対応

講師：兵庫大学
生涯福祉学部 社会福祉学科
和田 光徳 教授
事例報告に基づく意見交換

2022年12月10日
土曜日
13:00から16:00
Zoom入室受付12:00より

対象者：介護支援専門員
参加費：会員1,000円
非会員5,000円
別途Peatixの手数料必要

定員：120名
閲覧パスワード20221210



URL: <https://peatix.com/event/3401238/v1ew7kx1b2f59ed09c61dfe1a5b38a3ca81ca9835ac609>

決定 ▶ 堺ブロック
キャラクター・ロゴマーク
採用者当日発表！

介護支援専門員資質向上（法定外）
オンライン研修

ソーシャルワーカーの 防災スペシャリストに学ぶ！

～その時、私達に求められること～
必ず来ると言われている南海トラフの大地震、
そして昨今の異常気象…
高齢者を支える要である私達ケアマネジャーは、
何を備え、何をしなければいけないのか？
今、それを考え、学ぶ時です。

講師：堺市健康福祉部 生活福祉部 地域共生推進課 寛見佳宏
日程：令和4年9月21日（水）14:00～16:00（2H）
受付：（入室）は13:00～ 完全ZOOM開催
定員：80名
参加費：大阪介護支援専門員協会 会員 1000円
非会員 3000円

【申し込み方法】
Peatixのみ、以下のURLかQRコードからお申込みください。
パスワードは 0722217004
<https://peatix.com/event/3307646/view?w7k=a2611f09f74b9ec0a40b4e99bd59a91c1b6f2e7b>




移動中の受講は禁止です。受講者のネット環境不良、声が聞こえない、顔が映らないなど、
受講状況が確認できない場合は終了後の発行ができません。終了後はメールにて返信させていただきます。
一台の端末から複数名の受講はお控えください。終了後はメールにて返信させていただきます。
受講記録への保存は行いません。受講料の入金後の返金はいたしませんのでご了承ください。

※その他、Peatixの記載している注意事項、禁止事項を必ずご確認ください。

主催：大阪介護支援専門員協会 堺ブロック防災対策チーム

介護支援専門員資質向上（法定外）研修

介護支援専門員の 「倫理」と「責務」を考える パート 1

日時 2022年
7月2日 14:30-16:30
zoomを活用してのリモート研修です。

14:30～15:30
「利用者からのハラスメント対応」
講師：泉田健司氏（泉田法律事務所 弁護士・
大阪介護支援専門員協会ブロック顧問弁護士）

15:30～16:30
「OCMA/JMCAの倫理綱領について」
講師：神崎トモ子氏（日本介護支援専門員協会 倫理委員会 委員）

参加費：（公社）大阪介護支援専門員協会 会員1,000円 非会員5,000円
別途、Peatixシステム利用料220円
定員：100名
申込： <http://patix.at/ROEaKm>



主催：大阪介護支援専門員協会
堺ブロック

令和4年度～令和5年度

堺ブロック 法定外研修

堺市の介護支援専門員に様々な研修の機会
の場を提供できるようにしています。

令和4年度、堺ブロック主催の法定
外研修は3つの研修を企画、運営しま
した。令和5年度も、堺ブロックと各
支部で、様々な法定外研修を予定し
ています。

法定外研修の予定は堺ブロックHP
でご確認ください。
（下記QRコードでご覧いただけます）

HPには法定外以外の様々な研修の
案内も掲載されています。

URL
<https://sakai-caremanager.com/>

QRコード



【堺ブロックから参加している堺市の会議】

- ・ 堺市地域包括ケアシステム審議会
- ・ 堺市高齢者支援ネットワーク会
- ・ 堺市地域介護サービス運営協議会
- ・ いいともネット
- ・ CCコネット
- ・ 堺市難病支援連絡会など 委員として派遣

vol.01

¥0

SAKAI
BLOCK

堺市 新施設情報

HPを参照してください
<https://onl.la/g5En6ab>
 HPのQRコード



堺市医療・介護機関のリスト

HPを参照してください
<https://onl.tw/AvzPnkp>
 HPのQRコード



大阪介護支援専門員協会

HPを参照してください
<https://www.ocma.ne.jp/>
 HPのQRコード



介護保険最新情報

<https://onl.tw/sGdGyci> HPのQRコード



はにやマネ(仮)
 「みんなも
 情報通になるにゃあ」

＊介護保険最新情報vol.1109（「ケアプランデータ連携システム」の概要等の周知について（情報提供（Ver.2））

＊介護保険最新情報vol.1106（新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の有効期間の取扱いについて）

＊介護保険最新情報vol.1049（「介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目の提示について」の一部改正等について（介護保険最新情報Vol.9 5 8等の再周知））



編集後記

第2号 予告

創刊号、ようやく発刊ができました。さて、次号あるのかなのか？ あるようなら、どんな内容を希望しますか？

感想など、それぞれの支部宛てにご意見頂けたらと思います。

協会活動のふり返り（記事：竹谷）

堺堺ブロックより初めての広報誌を創刊させて頂くことになりました。

私自身も初めての経験で、不慣れな点多かったのですが、協会員皆様のご支援を頂きながら創刊号を発刊することができました。

協会員の皆様の一助となることができるよう、有益な情報を発信できるよう、次号以降も研鑽していきたいと考えております。

『知りたい情報』『記事のテーマ』等、御希望があれば、大阪介護支援専門員協会堺ブロックまで御連絡を頂けると幸いに存じます。